



食品企業



講演内容

成長する海外市場を取込むことで、日本の食品企業の輸出や海外事業が食品企業の利益の源泉となり始めている。これは、大企業だけでなく地方の食品企業の再生にもつながる重要な取り組みであるが、現実には中国などの地域では苦戦を強いられている。

一方で、投資家、消費者から地球市民としてのサステナビリティの要求が強まったり、新しい技術を活用したフードテックへの対応を迫られたりするなど、食品企業に課される課題は多い。

今回の講演では、近年のグローバル展開を振り返り、2030年に向けた社会変化を展望した食品企業の未来を考える機会としたい。

開催日時

11月26日 土

13:00~14:30

Zoomによるオンライン公開講座

2030年 その先へ

講師紹介

【略歴】

昭和63年 京都大学経済学部経済学科卒業
平成24年 日本大学大学院総合社会情報研究科
博士後期課程修了（総合社会文化）
昭和63年 株式会社日本興業銀行
（現みずほフィナンシャルグループ）入社
平成19年 みずほコーポレート銀行産業調査部次長
平成27年 目白大学経営学部経営学科教授
平成31年 日本大学大学院総合社会情報研究科
国際情報専攻主任教授

【研究分野】

経営学・流通経営論・金融論・ファミリービジネス研究

【近著】

「食品企業2030年、その先へ」2022年10月（予定）、
日本食糧新聞
「ファミリー・ガバナンス スムーズな事業承継を実現
するために」(2020年, 中央経済社)
「これからの銀行論」(2019年, 中央経済社)



加藤 孝治

大学院総合社会情報研究科教授

【お申込・お問合せ】 日本大学大学院総合社会情報研究科 公開講座事務局（研究事務課）
受講申し込みは、本研究科ホームページにて受け付けます。

